

# 技術科

3 年 【17.5時間】

目 標	<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	
学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双方向性のあるコンテンツとは</li> <li>・問題の発見, 課題の設定</li> <li>・コンテンツの構想</li> <li>・コンテンツのプログラムの制作</li> <li>・問題解決の評価, 改善・修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認, デバックができる技能を身に付けている。(知技)</li> <li>・身近な生活の中の課題を発見し, 効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。(思判表)</li> <li>・課題の解決に主体的に取り組んだり, 振り返って改善したりしようとしている。(主)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の技術の最適化</li> <li>・これからの情報の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の技術の概念について理解している。(知技)</li> <li>・これからの情報の技術について考えている。(思判表)</li> <li>・課題の解決に主体的に取り組んだり, 振り返って改善したりしようとしている。(主)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsと技術とのかかわり</li> <li>・学んだことを社会に生かす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の技術の学習内容を統合し, 将来に向けて自分なりの技術の活用方法を考えさせ, 10年後, 50年後の未来像とともに発表することができる。(主)</li> </ul>